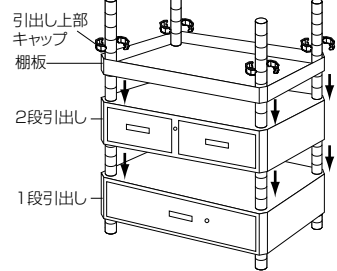


引出し付の取付

1 段引出しに重ねるように
2 列引出しと棚板を載せ、
その上部の四隅に引出し上
部キャップを取り付けます。



引出し上部キャップの取り付けについて

【取り付け位置について】

引出し上部キャップは引出しまたは引出しに載せる棚板の上部四隅に取り付けます。
(キャップは引出しごとに同梱していますが、引出しや棚板の重なる箇所には使用しません。)

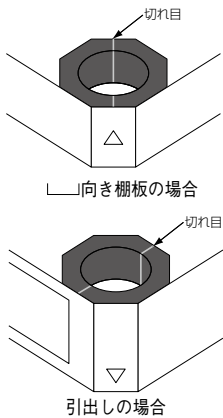
【取り付け方向について】

〈L 向き棚板の場合〉

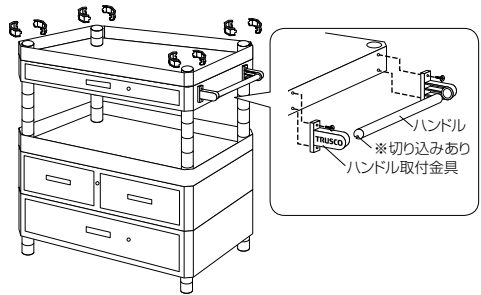
棚板コーナー部に引出し上部キャップの切れ目がくるように取り付けます。

〈引出しの場合〉

引出し上部キャップの切れ目が引出しコーナー部に対して45°回転した方向に取り付けます。



「上部のブッシュ取付け位置について」を参考に、支柱スリットにブッシュを取り付けて浅型引出しを差し込み、棚板を載せて四隅に引出し上部キャップを取り付けます。ハンドル取付金具をトラス小ネジ(M6×20)で引出し側面に取り付け、ハンドルを固定します。



上部のブッシュ取り付け位置について

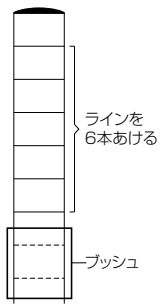
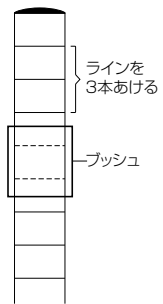
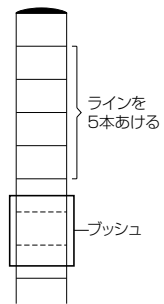
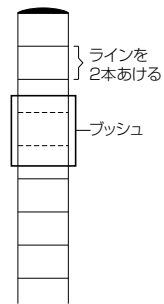
薄型引出しを最上部に取り付ける場合

他の引出しを最上部に取り付ける場合

薄型引出し+棚板を最上部に取り付ける場合

他の引出し+棚板を最上部に取り付ける場合

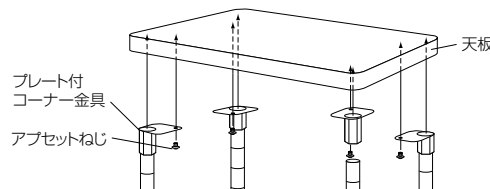
※最上部の引出し上面に天板を取り付ける場合も同じです。



天板付の取付

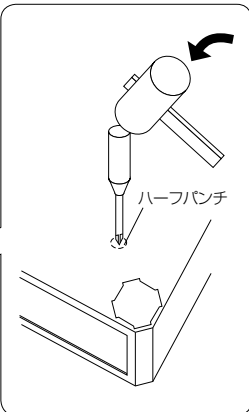
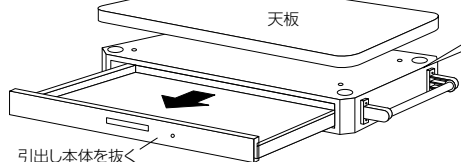
【天板のみを取り付ける場合】

ブッシュを支柱に取り付けて、プレート付コーナー金具を軽く差し込み、天板を載せます。金具の穴と天板裏面のナットが合うように金具の向きを調整し、アップセットねじ(M6×10)で天板に取り付けます。最後に天板上面に当て木をして、軽く叩き込みます。



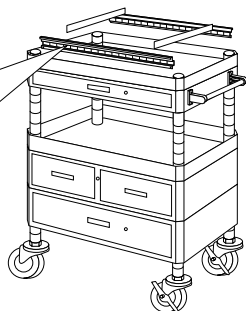
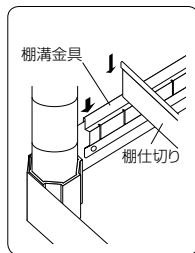
【引出し上面に取り付ける場合】

引出し本体を抜き、引出しケース上面のハーフパンチ部をドライバーと木槌で叩いて穴を開けます。その上に天板を載せ、開けた穴を利用して天板をアップセットねじ(M6×10)で固定します。ブッシュを取り付けた支柱に天板の付いた引出しケースを差し込み、天板に当て木をして、軽く叩き込んだのち、引出し本体を挿入します。



仕切板の取付

棚溝金具を棚板立ち上がり部内側に取り付け、棚仕切りを差し込みます。



商品改良のため、予告なく仕様を変更する場合がありますのでご了承ください。

総発売元 **トラスコ中山株式会社**

〒550-0013 大阪市西区新町1丁目34番15号

E-mail:techno.center@trusco.co.jp

お客様相談室

TEL ☎ 0120-509-849

FAX ☎ 0120-509-839

<http://www.orange-book.com/>



パイプ式フレックスワゴン FLW 型 組立・取扱説明書

このたびは、**TRUSCO**パイプ式フレックスワゴンをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本製品は、中棚板を25mmピッチで移動でき、両面使用が可能です。塗装は焼付け塗装でサビ・キズに強く汚れも目立ちません。工場倉庫で末長くご使用いただけます。

- ワゴン1台当りの最大積載量：100kg / 台(棚板1段当りの均等積載量：100kg / 段・引出し1段当りの均等積載量：10kg/段)
- ワゴン1台当りの最大積載量：150kg / 台(棚板1段当りの均等積載量：100kg / 段・引出し1段当りの均等積載量：10kg/段)

※各棚板の均等積載量の合計量が、最大積載量 / 台を超えないように、また重心がなるべく下部になるように調整してください。

※「最大積載量」とは、各棚板の表面に均一に荷重をかけた場合に、耐えられる重さの合計をいいます。

※「均等積載量」とは、棚板の表面に均一に荷重をかけた場合に、耐えられる重さをいいます。

安全上のご注意

ご使用のまえに、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

※この組立・取扱説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、使用者や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐためのものです。



警告

取扱いを誤った場合に、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

■最大積載量以上の荷物を置かない

ワゴンが傾いたり、棚板が曲がったりして危険です。同梱の「警告表示シール」を必ず貼付し、表示に従ってください。

■足をかけたり、よじのぼったりしない

キャスターがついておりますので不安定です。転倒したり、棚板が破損したり、足を滑らせて、けがをする恐れがあります。同梱の「警告表示シール」を必ず貼付し、表示に従ってください。

■不安定な場所に置かない

ワゴンが倒れたり、荷物が落下して、けがをする恐れがあります。



注意

取扱いを誤った場合に、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■組立は組立・取扱説明書の手順に従う

手順を誤ると、組立中に部品が外れたり、倒れたりして、ケガをする恐れがあります。

■必ずハンドルを持って動かす

棚板を持って動かすと、棚板がはずれてケガをする恐れがあります。

■段差のあるところでは使用しない

むりやり押したり、引いたりした場合、ワゴンが変形し転倒する恐れがあります。

■傾斜地で止めるときは必ずストッパーをかける

ワゴンが暴走したり転倒したり、人や物に当たり、ケガや破損をする恐れがあります。

■移動時はワゴンをゆっくり運ぶ

荷物が落ちてケガをする恐れがあります。

■壊れやすい物、危険物、薬品等は収納しない

破損してけがをしたり、健康を害する恐れがあります。

■かたよった収納はしない

1枚の棚板に集中して荷重を載せる積み方をせず、ワゴン全体に均等に積んでください。バランスを失ってワゴンが転倒し、ケガをする恐れがあります。

■変形・破損したまま使用しない

転倒・落下により、ケガをする恐れがあります。

■改造や無理な修理、分解をしない

部品の取付を誤ると、ワゴンが分解し転倒してケガをする恐れがあります。また、切断面でケガをする恐れがあります。

■屋外や水のかかる場所で使用しない。また、ぬれた物を置かない

ワゴンが腐食し、倒壊する恐れがあります。

■棚板の穴や隙間に指を入れない

切断面や穴の先端などで、ケガをする恐れがあります。

■火気の近くに置かない

やけど、火災の原因になります。

■取付ブッシュがゆるんだり、外れたままで使用しない

収納物の落下などにより、ケガをする恐れがあります。

■主として運搬用に使用しない

フレックスワゴンは作業補助の簡易保管用品ですので、運搬用に使用すると耐久力が落ち、故障の原因になります

●本製品を第三者に譲渡、貸し出しする場合、必ずこの組立・取扱説明書を添えてお渡しください。

※この組立・取扱説明書は、紛失しないよう大切に保管してください。

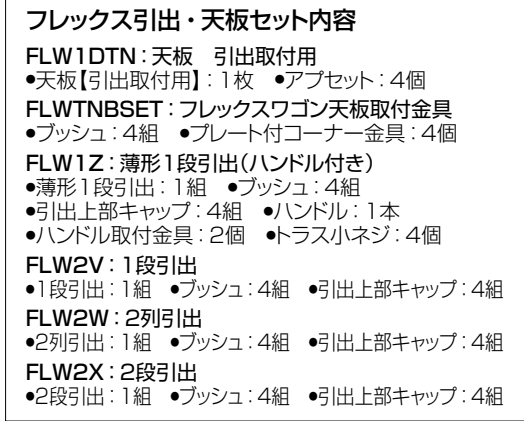
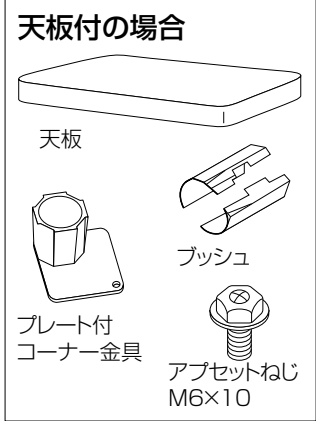
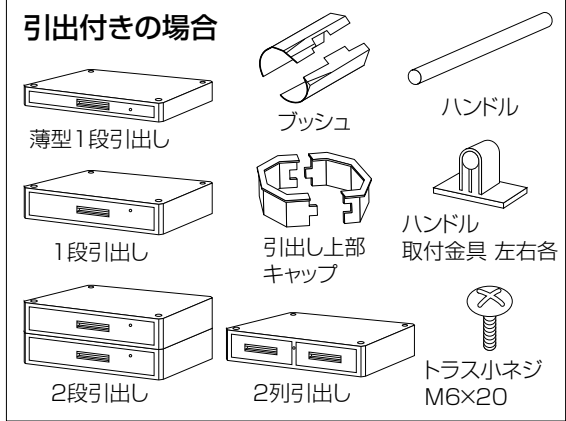
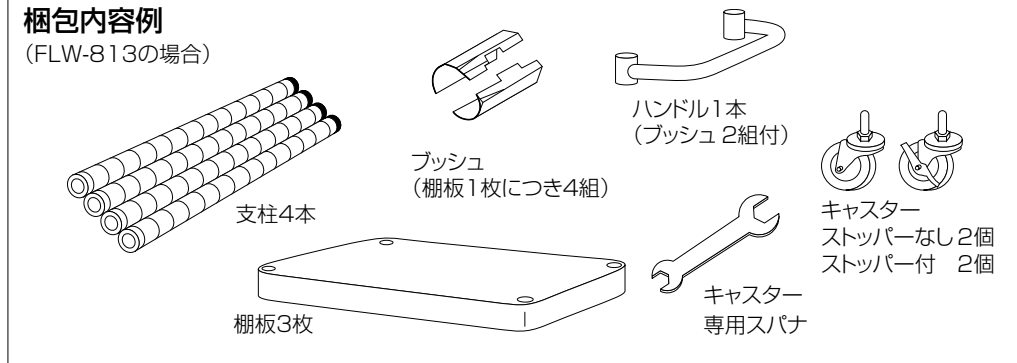
MADE
IN
JAPAN

1401-SA- 第2版

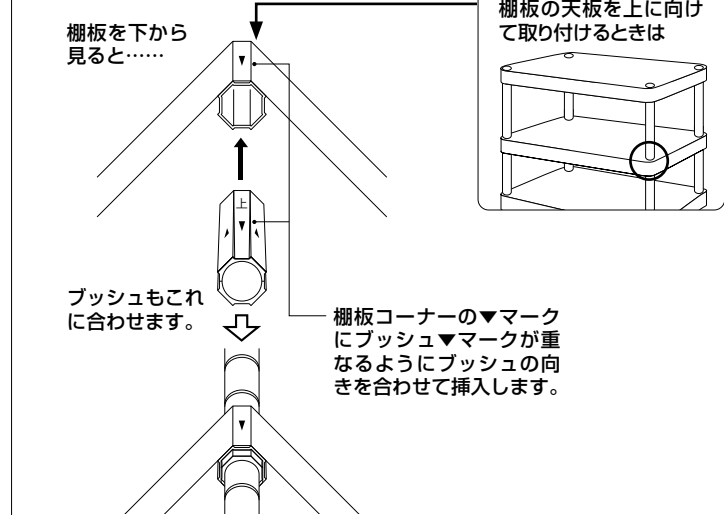
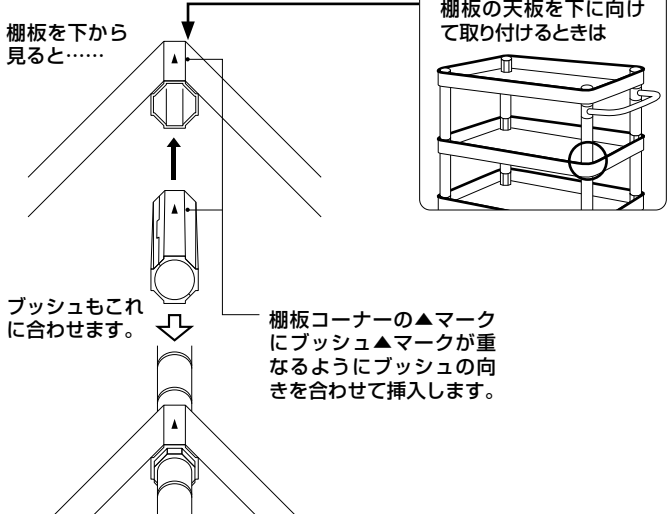
品番の見方	FLW	8	1	2	VWZ	W
	高さ	間口×奥行		棚板段数	オプション	本体色
	6= 600mm	1= 600mm ×400mm			V =1段引出し	W =ホワイト
	7= 740mm	2= 750mm ×400mm			W =2列引出し	YG =ヤンググリーン
	8= 880mm	3= 900mm ×400mm			X =2段引出し	
	9= 1200mm	4= 1000mm ×400mm			Z =薄形1段引出し	
	10= 1500mm	5= 1200mm ×400mm			S2 =仕切板	
					T =天板付	
					なし =オプション	

組み立てる前に

※本組立説明はFLW-812VWZW/YGを例示していますので、その他の機種につきましては各部の説明内容を参照しながら組み立てを行ってください。

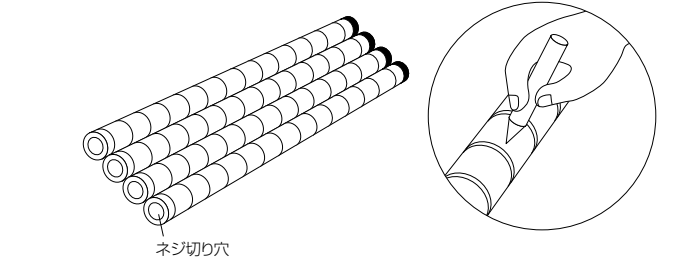


棚板取り付けの方法

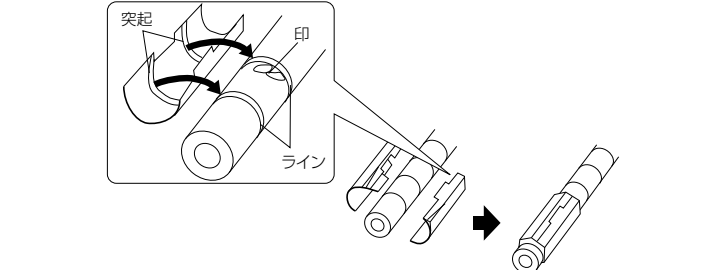


組み立て方(基本)

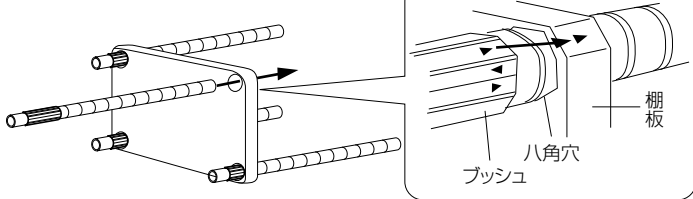
① 支柱を4本並べ、棚板を取り付けたいラインにマーカーなどで印をつけます。
※支柱はネジ切り穴のあるほうを下にします。



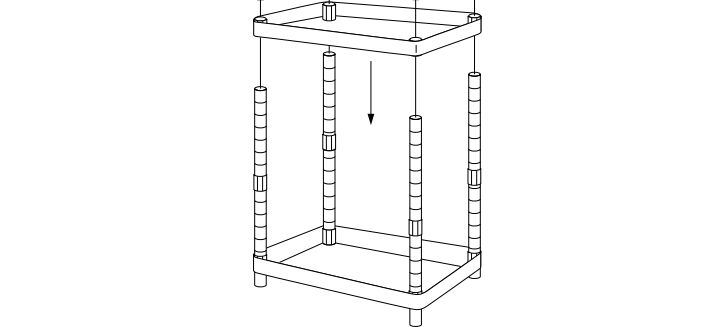
② 支柱に最下段用のブッシュを取り付けます。支柱の印をつけたラインともう一つ下のラインに、ブッシュの内側の突起がはまるように、両側から合わせます。



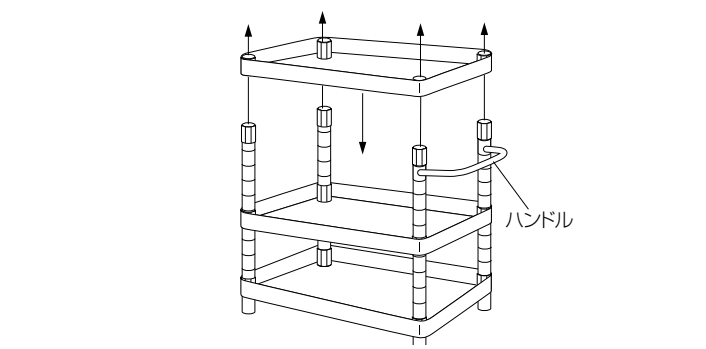
③ 板を立て、支柱を四隅の穴に下から通します。
※棚板は「┐┌」どちらを上にもできます。この時、棚板の▲マークと重なるようにブッシュの▲マークの方向を合わせます。(棚板を「┐」で使用する場合はマークは▼になります。) 4本とも通したら、支柱を棚板ごと起こします。



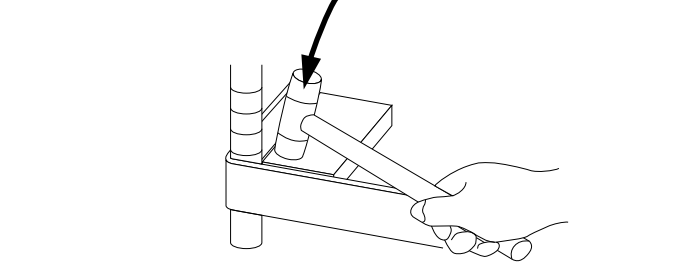
④ 支柱に2段目用のブッシュを取り付け、棚板を上から通し、はめ込みます。



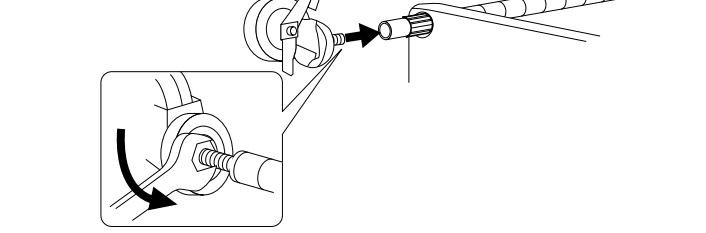
⑤ 柱2本にハンドル用のブッシュを取り付け、ハンドルを上から通し、はめ込みます。
※ハンドルも金具とブッシュ▲マークを合わせるように取り付けます。
支柱に最上段用のブッシュを取り付け、棚板を上から通し、はめ込みます。



⑥ 各段の棚板の四隅に当て木をして木槌などでたたき、傾きやゆれみがないよう、調整します。



⑦ 再び棚を横に倒し、支柱の下端にキャスターを取り付けます。ストッパー付のキャスターは、ハンドル側に取り付けてください。



最上段の棚板、前側面に「警告表示シール」「ロゴシール」を貼ってください。

